

県下の交通事故 (12月1日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
54年	3,434件	89人	4,569人
53年	3,580件	102人	4,814人
比較	-4.1%	-12.7%	-5.1%



◇ 第 46 号 ◇

発行所  
甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 37-7827



非常事態宣言・きびしい県警の街頭監視

# 年末年始の交通安全県民運動

## 12月20日～1月10日

### 無事故で明るい新年を

年末年始は、車や人の動きがわたたくなり、一年のうちで交通事故の多発する時期です。また、忘年会・新年会等酒を飲む機会が多くなり、飲酒運転による重大事故も増加します。このため、県交通安全対策本部・県交通安全推進協議会の主催により十二月二十日から一月十日まで「年末年始の交通安全県民運動」が行われます。

最近県下の交通事故死者は、異常と恐れられるほど激増し、県警では非常事態宣言までしています。これ以上の死者を出さないよう、県民みんながこの運動に参加し、お互いに交通事故の加害者や被害者にならないようにしましょう。

### 飲酒運転 しない

### させない 我が家でも

運動の重点は①子どもと老人の交通事故防止②飲酒運転の絶滅③安全運転の確保とシートベルト着用④の推進です。家庭、運転者、歩行者はとくに次のことを守りましょう。

子どもと老人を守る  
子どもや老人を見たら、必ず徐行して、安全を確保

飲酒運転をなくそう  
宴会には、車で行かないようにしましょう。酒を飲んだら、絶対に運転しないことです。「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、飲ませない」を徹底しましょう。

道路で遊ぶことはやめましょう。  
横断歩道のあるところでは、必ず横断歩道を通りましょう。

車のすぐ前、すぐ後の横断はしないようにしましょう。

道路で遊ぶことはやめましょう。

て運転しましょう。  
横断歩道のあるところでは、必ず横断歩道を通りましょう。

車のすぐ前、すぐ後の横断はしないようにしましょう。

道路で遊ぶことはやめましょう。

## 県警は非常事態宣言

### 交通事故死ハイペース 特別強化対策を実施

県下の交通事故死者は十月以降急増し、十月十四日、十一月は三十日現在で十三人を数え、これで今年これまでの交通事故死者は八十八人に達し、最悪の状態となりました。

県下の死亡事故は、昨年七年連続減少の記録がストアップし、一昨年を六%上回

る百六人となりました。このため県警では「死亡事故抑止」を今年の最重要目標に掲げ、警察官を大量に動員して徹底的に指導、取り締まりをしてきました。

この結果、八月までは減少傾向を示し、とくに九月は六人に抑えられたこともあって死者は急減し、九月末で

は六十二人で昨年の八十五人を二十三人も下回り、減少率も二七・六%と全国第一位の好成績でした。

しかし、十月に入ると一転し、相次いで死亡事故が発生し、二日に一人が死ぬという異常な事態となりました。これは、秋の観光シーズ

ンに入って県外車の事故が増えた原因もありますが、このままのペースでいくと「年間死者百人以下」の目標達成がむずかしいばかりでなく、例年事故の多発する年末を控え、あるいは百人以上の死者が予想され、極めて憂慮される情勢になりました。

こうした最悪の事態に対して、県警では十一月十一日いわゆる非常事態宣言を発し、毎日警察官三分の一以上の動員による街頭監視、指導取締りによる強化、夜間の警戒警備の実施等を内容とする「交通死亡事故抑止特別強化対策」を実施中

です。必ず着用しましょう。夜間は、スピードを一部ダウンし、ゆとりとゆすり合いの運転を励行しましょう。



いし三の運動を推進しましょう。

道路への水まきはやめましょう。

家庭での話し合い  
運転はスピードをひかえめに、いつもルールを守りましょう。

夜間の外出は目立つ色の服装か、反射材を身につけましょう。

家族で交通事故防止の話し合いをしましょう。  
シートベルトの着用を  
シートベルトは命綱で

### 免許更新は早めに 年末年始の事務取り扱い

免許証の更新は、一か月前から  
免許証の更新手続きは、有効期限の二か月前からできます。この手続きは、早くとも遅くとも、有効期限は三年先の誕生日まで、全く変わりありません。更新期限に入ったらなるべく早く手続きをおとりください。

とくに、年末年始の間に免許証が切れる方は、早目に切り替えて、安心して正月をお迎えください。

二十八日の午後から



### 安協常任顧問に 木村 武氏

当協会の常任顧問としてご指導をいただいております。このままのペースでいくと「年間死者百人以下」の目標達成がむずかしいばかりでなく、例年事故の多発する年末を控え、あるいは百人以上の死者が予想され、極めて憂慮される情勢になりました。

こうした最悪の事態に対して、県警では十一月十一日いわゆる非常事態宣言を発し、毎日警察官三分の一以上の動員による街頭監視、指導取締りによる強化、夜間の警戒警備の実施等を内容とする「交通死亡事故抑止特別強化対策」を実施中

今こそ県民総決起のとき  
魔の季節をのり切れ  
年末という死亡事故の魔の季節を迎え、このままの情勢で推移すれば「死者百人未満」はおろか、またまた年間百人を超えそうの情勢にあります。

交通事故抑止は、ひとり警察にまかせるだけでなく、今こそ県民が総決起し、運転者の立場、歩行者の立場、家庭や地域や職域の立場から真剣に事故防止に取り組んで、交通事故を起こさない決意をすべきときです。

この際、県民の一人ひとりがお互いに交通事故防止に取り組みましょう。



### 道路交通法違反と窃盗の罪

窃盗という犯罪は、いわゆる破産罪として多くの人がびびり、自ら戒められてきた行為である。また、客観的にもそれは人間として恥すべき行為、道徳的にも非難されるべき行為とされてきた。

ところが、道交法違反については、行為者ももちろん客観的にもきわめて甘い態度で、これを自認し、許容してきた感じが強い。しかし、現在の社会情勢の中にあつては「道交法違反は単に行政法上の違法行為である」と、簡単に片づけられない重要な意味をもつに至ったことを知らなければならぬ。

道交法違反は、刑法上の罪「過失致死罪」に直結する場合は非常に多い。とすれば、いまかりに、五万円の腕時計を盗まれたとしても、それは簡単に買い戻すことができる。しかし、交通事故によって小指一本を失ったとすれば、その人にとっては、金銭的なものをもってしては一生償うことのできない傷を負うることになる。いわずや、それが死に結びつき、あるいは身体的機能の大半を喪失し、また生涯をベントに苦しまなければならぬという事になれば、それこそ金銭や物質をもってしては償っても償い切れない決定的な損失を与えることになる。

経済的、物質的な損失はまたそれを補って補うことができるが、生命、身体、の損失は、何ものをもってしてもこれを補うことはできない。交通事故は、つねにこの貴重なものを破壊する点においては、窃盗、詐欺、横領等の破産罪による失われるものよりもはるかに重く、かつ大きい価値の喪失となることを知らなければならぬ。



あいさつする八島県警本部長

### 交通安全功労者・優良運転者

## 417人と26団体表彰

# 優秀賞は大月安協

## 65名に交通栄誉章

### 目立つ女性の功労者

県安協と県警本部主催の昭和五十四年度交通安全功労者および優良運転者等の表彰式が、十一月五日県民会館小ホールにおいて、望月知事をはじめ多数の来賓臨席のもとに盛大に行われました。

表彰式はまず全員で交通安全功労者に対する追悼の黙禱を捧げ、八島県警本部長と、国会の都合で出席できなくなった中村会長に代って小田切安協副会長が

あいさつを行なったあとと表彰が行われました。受賞者は永年にわたり交通安全活動に多大の尽力をした交通安全功労者、長期にわたり効果的な交通安全活動を続けている団体、日ごろ交通安全活動を活発に行なっている地区安協や功労のあった役員、常に模範的リーダーの活躍を物語っています。

受賞者は次のとおりです



女性の受賞者が目立って多くなった

**小田切彰氏に 勲四等瑞宝章**

協会の小田切彰氏は、秋の叙勲で勲四等瑞宝章を受けました。

小田切氏は、安協役員のほか県議三期、議長一回、県人事委員長も勤めました。今回の叙勲は、主として家業の製糸業界に尽くした功績によるものですが「叙勲の機会にもうひと働き」と

**田中正之氏 県政功績者に**

県安協理事、日下部安協会長の田中正之氏は、永年地方自治に尽くした功績により、十一月十六日県政功績者表彰を受けました。



田中正氏は、春日居町長、県町村会長、県温泉審議会委員、調停委員を勤めました。東山梨郡春日居町長戸九三三、農業、六十七歳。

### 交通安全

## 昭和55年 年間スローガン

### 最優秀作

運転者向け  
まずゆとり  
車間距離にもこころにも  
歩行者・自転車向け  
安全は  
家庭の中からしつけから  
あぶないよ  
あるきながらのふざけこい  
ことも向け

**交通安全中央大会**  
1月21・22日開催

全日本交通安全協会主催の「第二十回交通安全全国国民運動中央大会」が、一月二十一日・二十二日の両日、東京で開催されます。

第一日目は、日本都市センターと廻町会館で分科会や記念講演などが行われ、

第二日目は、日比谷公会堂に皇太子、同妃両殿下のご臨場を仰ぎ、内閣総理大臣、衆参両院議長、国家公安委員長、自治大臣、警察庁長官、その他関係者多数が出席して本会を開き、交通安全功労者、団体、優良運転者等の各種の表彰が行われます。

本県からも三十名が参加します。

友の会(飯沼)、南部交通安全協会(飯沼)、山梨県立南高等学校生徒会(市川)、竹居下地区交通安全協会(石和)、塩山交通安全協会第二支部(塩山)、忍野村農業協同組合、富士急行吉田営業所、東電富士吉田営業所(富士吉田)、大月保育園山百合の会(大月)、県自転車軽自動車協同組合、県自転車軽自動車商工業協同組合(県安協)

交通安全功労役員  
志村忠義、丸山賢二、三浦正雄、坂本清輝、小西高田村孝重、渡辺武、今村和徳(甲府)、島田三郎、中橋勇介、角田悦夫、長田隆次、相良八十次、清水正治(南甲府)、名取豊茂、小林九八、深沢安弘、山本哲郎、五味敏也(小笠原)、小林巖、石川義三、伏見きん子、高石弘一(韮崎)、菊池郁男、三井幸一、小尾儀一、栗沢二郎、清水隆(長坂)、笠井昭次、小池省三、野中文蔵、長谷川力、天野清次(飯沼)、山本博政、北沢徹郎、前川稔、秋山文男(南部)、八木吉治、斎藤元春、遠藤武、土橋公夫(市川)、筒井勝久、三枝守富、角田俊彦、渡辺貢(石和)、金井康敬、日原武一、渡辺賢明、内田光保(日下部)、堀内保房、楠初夫、牧野良文、辻善磨(塩山)、山本喜之、小林佑司、

(南部)小沢嘉長(市川) 中川弘也、小笠原良一(石和) 藤野政春(日下部) 宮博一、市川哲夫(塩山) 奥脇安夫(都留) 加藤純則 吉野太一(富士吉田) 田辺章(大月) 秦野俊夫(上野原) 鶴田美枝、野中まさ美(県安母連) 久保静夫、大窪政男(県安母連)

【優良運転者】 中込岩雄、清水栄三、馬場今朝吉、奥野久雄(甲府) 小池毅、平川吉光(南甲府) 佐久間政美、中沢金吾(小笠原) 高添勝多、小沢安彦(韮崎) 伏見五郎、多津川潤一、堀内とく(長坂) 志村好之、深沢弘(飯沼) 千頭和敏、田原忠(南部) 伊藤安正、秋山利雄(市川) 前田繁秋(石和) 長田忠昌、広瀬政澄(日下部) 清水一、池田照男(塩山) 長田誠、加藤庸明、小侯哲雄(都留) 堀浦朝春、日向一、雨宮丙午

【交通安全功労団体】 山梨県広告美術技能士会(甲府) 玉穂村保育所保護者会、KKK秋山種園研究所、南甲府女性ドライバーの会(南甲府) 白根町交通安全会(小笠原) 曙地区高校生

天野元芳、白須嘉郎、小林重雄(都留) 天野千代治、矢嶋謙、渡辺晃雄、広瀬博、菅谷国衛、伴新、渡辺美明(富士吉田) 岡部善市、天野昭秀、杉山隆、清水茂弘(大月) 岡部裕雄、磯部清孝、奈良八十八、中原正雄、上条徳高(上野原)

優良運転者  
【賞状】 河野清次、立川昭雄、伊藤今朝雄、末木恒秋、有墨逸郎、川住光明、神田等、金丸常治、平山義造、佐野晃(甲府) 神田育哉、小林芳方、秋山和富、小池一光、萩原勉、徳原敏夫、中込虎夫(南甲府) 清水延重、保坂茂雄、野田可織、樋泉政次郎、山本君雄(小笠原) 山本進一郎、仲沢淳、向山貞夫、下条運好、清水篤(韮崎) 山本久雄、奥水文次、藤原安雄、柏木昭一、小林武士(長坂) 中込恵、熊王昭二、樋口以徳、樋川久美、高橋徹(飯沼) 市川喜洋、佐々木英治、千頭和静夫、岩本敏弥、佐野茂秋(南部) 佐野正幸、渡辺一男、佐野毎弘、伊藤眞吾、渡辺雄一(市川) 斎藤眞吾、田辺健一、佐藤貞、鶴味武男、北野一孝、河野勝男(石和) 宮沢勇、水沢繁雄、黒沢信美、志村俊夫、三枝裕(日下部) 雨宮甲子雄、小林敦則、八巻二子、金子一好、藤原理夫(塩山) 志村孝子、程原敏夫、小林保彦、佐藤京行、渡辺三千雄(都留) 菊池醇、小糸好久、井出恒雄、長田巴、羽田健太、田元則、宮下漢都、堀原健一(富士吉田) 小俣孝男、芳賀信一、森山国雄、亀井政昭、小林幸光(大月) 船木昭和、小俣辰男、安藤由光、溝呂木正男、和智健一(上野原) 清水進、森田和彦、金子一(県安協) 望月悟、小野秀樹、渡野政次(県二輪車委) 渡辺文男、村松巖(県バス協)

優良運転者証書交付  
山梨交通株式会社  
長田常雄ほか一六二名  
優良職員  
池上朝吉(甲府) 古屋智世子(富士吉田) 三井武彦 五味一成(県安協)

# 丸山洋一郎君(山梨北中)が優勝

## 第21回県下中学生交通安全弁論大会



18人の選手が熱弁をふるった

県安協、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社共催の第二十一回県下中学生交通安全弁論大会は、十月十六日NHK甲府放送局で行われ、各地区予選を勝ち抜いた十八名の選手が熱弁をふるい、それぞれの立場から交通安全を訴えました。審査の結果、優勝は「常に自分のこととして」と題して、中学生の立場から交通安全に対してどのような注意をしたらよいかを訴えた丸山洋一郎君(山梨北中)が優勝し、準優勝は河内直人君(山梨北中)が、優秀賞は梅沢小百合君(甲府北東)が、最優秀賞は小松まゆみ君(英和)が、甲府市長賞は塩沢充正君(城南)が、以下出場順に中村千寿君(一宮)大庭みち代君(平和)三浦幸子君(西浜)保坂晴美君(菲崎)西川原大介君(上野原)谷戸恵君(泉)石川優子君(甲西)中村貴美君(龍王)深沢美香君(中富)中村絹子君(塩山)遠藤忠治君(下山)秋山富美香君(三珠)安藤よしみ君(猿橋)が受賞した。

た山梨北中二年、丸山洋一郎君に決まりました。成績は次のとおりです。  
 【優勝】 知事賞 丸山洋一郎君(山梨北中)  
 【準優勝】 県議長賞 河内直人君(山梨北中) 県警本部長賞 梅沢小百合君(甲府北東) 県教育長賞 小松まゆみ君(英和)  
 【優秀賞】 甲府市長賞 塩沢充正君(城南) 以下出場順に中村千寿君(一宮)大庭みち代君(平和)三浦幸子君(西浜)保坂晴美君(菲崎)西川原大介君(上野原)谷戸恵君(泉)石川優子君(甲西)中村貴美君(龍王)深沢美香君(中富)中村絹子君(塩山)遠藤忠治君(下山)秋山富美香君(三珠)安藤よしみ君(猿橋)  
 山梨北中二年、丸山洋一郎君に決まりました。成績は次のとおりです。

「母親の立場から交通安全を訴えよう」という「交通安全キャラバン隊」が、八月二十三日から三日間、県下各地を回りました。これは「母の手で交通安全」の世論を高め、悲惨な交通事故をなくしようという、全国交通安全母の会連合会(甲本静会長)と県交通安全母の会連合会(鶴田美枝会長)が共催で行なつたものです。第一日は、県境の上野原市に母親たち八十名が集まり、上野原中のバス停に集合し、上野原中からバス二台で出発。大月、都留、富士吉田地区をキャラバンし、「お母さん、あなたの力で悲惨な交通事故をなくしよう」と訴えました。



母親の力で交通事故防止を訴えるキャラバン隊

### 母親の手で交通安全を

#### キャラバン隊 県下を回る

このあとい行は山梨市民会館で開催された交通安全母の会の研修会に参加し、市川、南部、飯沢署を訪問し、三日目は南甲府、小笠原、韮崎、長坂地区を巡回しました。各地では、警察署長、交通安全協会長、市町村長の歓迎の言葉をかけ、「ぜひ、お母さん方の力で事故をなくしてください」と激励を受けました。このキャラバンは、総理府の委託事業として行われたもので、全国で初めてのことです。

### 常に自分のこととして

#### 山梨北中二年 丸山洋一郎



ぼくは、時おり、自動車は日本人にはまだむりな乗物なのかと思うことがありますが、それは、無謀な運転によってあまりにもいたましい事故が、次から次へと発生するからなのです。現代社会に与えた利益は、はかり知れないものがあります。しかし、その反面便利な車によって、どれだけの人が傷つき尊い命がうばわれていったことでしょうか。

ぼくは、時おり、自動車は日本人にはまだむりな乗物なのかと思うことがありますが、それは、無謀な運転によってあまりにもいたましい事故が、次から次へと発生するからなのです。現代社会に与えた利益は、はかり知れないものがあります。しかし、その反面便利な車によって、どれだけの人が傷つき尊い命がうばわれていったことでしょうか。

ぼくは、時おり、自動車は日本人にはまだむりな乗物なのかと思うことがありますが、それは、無謀な運転によってあまりにもいたましい事故が、次から次へと発生するからなのです。現代社会に与えた利益は、はかり知れないものがあります。しかし、その反面便利な車によって、どれだけの人が傷つき尊い命がうばわれていったことでしょうか。

ぼくは、時おり、自動車は日本人にはまだむりな乗物なのかと思うことがありますが、それは、無謀な運転によってあまりにもいたましい事故が、次から次へと発生するからなのです。現代社会に与えた利益は、はかり知れないものがあります。しかし、その反面便利な車によって、どれだけの人が傷つき尊い命がうばわれていったことでしょうか。

昨年度の山梨県の事故数は、三千八百九十三件。死亡者は、実に百六人にもなりました。その中には、通園車を持っていった幼稚園児が、ライトバンにはねられるという、いたましいものも含まれています。また、老人の事故も年々増加しているのです。どうしてこのような悲惨な事故が後を断たないのでしょうか。

また、他の原因に、今の日本の道路の不完全さがあると思います。よく新聞などに日本の道路の優秀な点をあげて他の先進国と比べている記事があります。確かに高速道路や主要幹線などは整備されているかもしれませんが、問題は、問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。

また、他の原因に、今の日本の道路の不完全さがあると思います。よく新聞などに日本の道路の優秀な点をあげて他の先進国と比べている記事があります。確かに高速道路や主要幹線などは整備されているかもしれませんが、問題は、問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。

また、他の原因に、今の日本の道路の不完全さがあると思います。よく新聞などに日本の道路の優秀な点をあげて他の先進国と比べている記事があります。確かに高速道路や主要幹線などは整備されているかもしれませんが、問題は、問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。

また、他の原因に、今の日本の道路の不完全さがあると思います。よく新聞などに日本の道路の優秀な点をあげて他の先進国と比べている記事があります。確かに高速道路や主要幹線などは整備されているかもしれませんが、問題は、問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。問題はそのほかの道路です。

**山梨県交通安全協会会員のための災害共済のお奨め**

万人は一人のために 一人は万人のために

※ 保険会社の職員が内容説明に伺います。

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社 **協栄生命**

甲府市丸の内三丁目20-3  
TEL 0552 (22) 4836代

**新規購入 映画の紹介**

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しします。ご利用ください。

一、おいしい悪魔  
 16ミリ、カラー、26分、運転者向。  
 飲酒運転の危険性はだれでも知っています。知っていても無視されがちなのは、飲酒運転の本当の危険性が、実感として理解されていないからです。この映画は、これだけ飲むとこれだけ危険だということを、科学的な実証によって教えてくれます。「わかつちやいりや、ついで……」というドライブパトロールの有効な警鐘となることとしよう。

二、習慣にしたいですね  
 シートベルト  
 16ミリ、カラー、20分、運転者向。  
 乗ったらしめよう心とベルト

三、明日に向かって走れ  
 16ミリ、カラー、43分、運転者向。  
 ドライバーの誇りと責任感をヒューマンタッチで描いた映画です。テレビ朝日の制作で、感動深く、いつまでも強い印象が自分の心に残ります。

四、車と車の対話  
 16ミリ、カラー、28分、運転者向。  
 運転者は真剣に車と車の対話に心掛け、安全への努力を忘れてはなりません。この映画は、車対車の事故防止をテーマに、死を招く正面衝突、側面衝突、追突の事故事例を分析し、事故を起こした運転者の心理的背景をさぐり、防衛運転と車と車の対話の必要性を強く訴えています。なお、日本坂トンネルの惨事を生々しく見せ、印象強いものがあります。

悲惨な交通事故を減らそうの願いをこめた昭和五十五年使用の「交通安全年間スローガン」が決まりました。交通安全年間スローガン募集は、全日本交通安全協会が総理府、警察庁、日本放送協会、毎日新聞社等の後援で行い、こんどで十五回目です。全国各地からの応募は合わせて二十二万五千八百六十六点にのぼり、関係者の最終審査の結果、三部門の最優秀作品と佳作が決定しました。

交通安全死者は年ごとに減少し、国民の努力が実ってきています。

このスローガンを行動に移し、来年こそ交通安全運動を大きく前進させたいものです。

**佳作 (全日本交通安全協会会長賞)**

**○運転者に対するもの**

アッ あぶない こどもは 動く赤信号  
運転は心の広さの パロメーター  
運転はマナーと ゆとりとゆずり合い  
軽いバイク かるいところが 重い事故  
交差点 譲る勇気に 持つゆとり  
心のアケル事故のもと せくな 急ぐな  
あわてるな  
交差点 見る待つゆずる 徐行する  
広げよう「どうぞ」と「どうも」で  
無事故の輪  
ゆずられたうれしさ ゆずったさわやかさ  
ゆずり合い 車社会を 生きる知恵

**昭和55年交通安全年間スローガン**

**○歩行者・自転車乗用者その他に対するもの**

おや危ない 知らない子にも 笑顔で注意  
横断は 人と車の 譲り合い  
おしゃべりを止めて 渡ろう交差点  
子がまねる 正しい横断 あなたから  
知らぬ間に 危険も乗せてる 二人乗り  
たしかめる たしかな注意が 身を守る  
止まるハズ行けるハズ 二つのハズが  
事故のもと  
歩道では 歩行者一番 自転車二番  
夕食に 親子で話そう 交通ルール  
渡るまで 子から離すな 手と心

**○子供からの募集**

安全の手本になろう キミとボク  
しんごうき あおになっても みぎひだり  
自転車と とばすのよそ 曲がり道  
そんなに急ぐな あわてるな  
むかしはみんな歩いてた  
小さな子 守ってあげよう 行き帰り  
とびだすな 車にタイムは きかないよ  
ぼくらから ルール守って 交通安全  
ボールはあとでもひろえるが  
命はあとではひろえない  
まがりかど うしろタイヤが あぶないぞ  
守ろうよ みんなできめた 交通ルール

**タイヤの溝は1.6ミリ以上に**

**限度以下は整備不良車**

運輸省

タイヤの接地部のすべり止めの安全性について検討していた運輸省は、すり減ったみぞの深さの限度の基準(摩耗限度)を明確に定めました。

この摩耗限度の基準は、乗用車、バス、トラックが一・六ミリ以上、二輪自動車が一・八ミリ以上となつていきます。

運輸省では、これを十二月一日から実施することとし、各陸運局とバス、トラック、タクシーなどの業界、自動車整備関係の業界や団体に通知しました。

この基準は運転者を守るべきものとされており、基準の限度以下だと車検に合格しないうえ、道交法の整備不良車として扱われます。

このため、警察庁も取り締まりにどう組み入れるか検討中です。

タイヤの摩耗については、これまで道路運送車両

法の保安基準で「すべり止めが施してあること」と、はく然とした表現による規制があっただけで、また、車検の基準も「みぞが容易に確認できる」という程度で、はっきりしていませんでした。摩耗の限度が具体的な数値で示されたのはこれが初めてです。

この数値は、自動車関係機関や学識経験者による

「タイヤ摩耗限度検討会」が、いろいろのみぞの深さのタイヤを使った実験を繰り返して、欧米の規制値などを参考に決めてきたという事です。

**写真の賞金を**  
交通安全に寄付  
都留市田原一丁目十一番六、富士急建設株式会社総

務課長の広島勝寛さんは、このほど交通安全に役立ててくださったと、交通安全協会に五千円を寄付されました。

広島さんは、富士急建設の安全運転管理者でもあり安全運転に深い関心を持ってのことから、同社の仕事点検の状況を写真に撮り、交通安全写真コンテストに応募したところ銅賞に入賞し、賞金三千円を受領したのでこれに二千円を足して寄付したものです。

県交通安全協会では、広島さんの厚意に感謝するとともに、寄付金は交通安全運動の事業に活用することになりました。

**第13回交通安全写真コンテスト**

**入賞60点を決定 最優秀賞なし**

県安協主催、県警本部、山日新聞社後援の第十三回交通安全写真コンテストは、四月から募集をはじめ、八月三十一日をもって締め切りしました。応募作品は九十九一点に達しました。

九月十日審査の結果、本

年は最優秀賞の入選はなく、金賞五点、銀賞七点、銅賞十八点、佳作三十点を決定し、入賞者には賞状と賞金が贈られました。なお入賞しなかった応募者には参加記念品が贈呈されました。

応募作品は、交通安全の展示用や、交通安全広報紙(誌)などに活用され、交通安全の啓発に役立っています。

また、一般への貸し出しもいたしますので、ご希望の方は県安協事務局へお申し込みください。

入賞者は次のとおりです。

- 第一部(一般写真)**
- 【金賞】小侯正明(富士吉田) 小侯敏夫(甲府)
  - 【銀賞】浅川隆雄、田中節男(甲府)
  - 【銅賞】梅原武伴(敷島)
  - 宮沢義太郎、浅川隆雄、中山達雄(甲府) 清水巖(昭和)
  - 【佳作】三井 鈴、佐藤文雄、清水利夫、鈴木正敏、小沢正司、中山達雄、小侯敏夫、田中節男(甲府) 清水巖(昭和) 井島堅造(山中湖) 阿蘇実(東京)
- 第二部(事故写真)**
- 【金賞】小川正(都留) 大柴政仁(南甲府署) 清水健次(甲府)
  - 【銀賞】伊藤七六(甲府) 高坂幸太郎(御形) 岩間弘義、福島昇(南甲府署)
  - 【銅賞】小川正(都留) 日本道路公団大月交通管理隊、藤井昭喜、早川唯之、横森幸平(南甲府署) 高速隊大月分駐隊、大窪政仁、大竹幹彦、末木孝(飯沢署) 大月警察署
  - 【佳作】井島堅造(山中湖) 今村 陽(敷島) 中沢俊司(白根) 伊藤七六、金沢守(甲府) 日本道路公団大月交通管理隊、福島昇、高添初男(南甲府署) 高速隊大月分駐隊、青柳一夫(飯沢署)

**高校生の事故なくせ**

**二輪車の実技講習を実施**

県交通安全協会と、県二輪車安全運転推進委員会では、高校生の二輪車事故を防止するため、県警と県教委の協力を得て、県下の各高校で「高校生二輪車安全運転講習会」を開催しています。

最近のバイクブームで、高校生の二輪車通学も激増し、これに伴い事故や違反も増えています。

昨年一年間における本県の高校生の事故は四百六十九件、死者六人、傷者四百六十六人と多く、一方交通違反の検挙者はなんと二千六百七十一人にも達しています。

**禁止するより 教えて乗らせる**

しかし、高校生の二輪車に対する魅力と熱意は強く到底これを抑えることはできません。なかには、危険だからといって「免許を取らせない」「車を買わせない」「車に乗らせない」といういわゆる三不主義で禁止を原則としている高校もありますが、全面禁止はまったく不可能なことで、十六歳になれば「待ちに待った十六歳」とばかり、どっどっ免許申請をしたり、かくれて乗っているのが実態です。

このような実情から、県教委でも「禁止するより教えて乗らせる」方針をとり

各高校でも学校行事として参加しています。

講習は、県警の白バイ隊員や、二輪車安全運転指導員が「ライディング入門」を教本に、安全運転の知識と二輪車の正しい乗り方の実技指導をするもので、主として免許取得者を対象に行われていますが、なかに

は交通安全教室として、全校生が参加するところもあります。

本年十一月末までの実施状況は、二十七校 一万二千八百五十人に達しています。



**竣工**

中巨摩郡八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内 山梨自動車学校校舎新築

企画・設計・監理 (株) 笠井一級建築士設計事務所 本社/甲府市緑が丘一丁目18-3 TEL 0552335705・6210

県下一の

広いコースと近代化された施設で 早い上達を!

伝統ある当校で

1日も早く免許証を あなたの手へ

財団法人

山梨県交通安全協会経営

**公認 山梨自動車学校**

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内

TEL 05528-5-0752